

# 第2類医薬品

押してあける

副作用被害救済制度  
電話 0120-149-931

## 【販売名】

漢方かぜ内服液「M」

### ⚠️【使用上の注意】

#### ❌【してはいけないこと】

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください  
体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
2. 短期間の服用にとどめ、連用しないでください

#### 🗨️【相談すること】

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください(1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦または妊娠していると思われる人。(3)胃腸の弱い人。(4)発汗傾向の著しい人。(5)高齢者。(6)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。(7)次の症状のある人。むくみ、排尿困難(8)次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この製品(箱)を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感
その他	発汗過多、全身脱力感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1ヵ月位(感冒、鼻かぜに服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この製品(箱)を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

### 【効能・効果】

体力充実して、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、せきが出て身体のふしぶしが痛く汗が出ていないものの次の諸症:感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり

### 【用法・用量】

次の量を、食前または食間によく振ってから服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1本	3回
15歳未満	服用しないでください	

注)食間とは「食事と食事の間」のことで、たとえば朝食と昼食の間のことをさします。食事中に服用するというものではありません。

#### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)本剤は、本質的に沈殿を含んでいますので、服用前によく振ってから服用してください。

### 【成分・分量】

本品1日量90mL(30mL×3本)中、以下の生薬より抽出した麻黄湯エキス81mLを含有します。  
日局マオウ………5.0g 日局ケイヒ………4.0g  
日局キョウニン…5.0g 日局カンゾウ………1.5g  
添加物として白糖、パラベン、香料(エタノール、グリセリン、プロピレングリコール、メントールを含む)を含有します。

### 【保管および取り扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)誤用をさけ、品質を保持するために他の容器に入れかえないでください。(4)使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。(5)ビンをあけたら飲みきってください。(6)ビンをあけたまま保存しないでください。

### 【包 装】30mL×3本入(1日分)

発売元



お客様相談窓口  
電話 0120-329-930  
<http://www.tsumura.co.jp/>

製造販売元 新生薬品工業株式会社  
奈良県高市郡高取町清水谷1269